

BLSO プロバイダーコース
in 日本医科大学多摩永山病院 2018

主催：南多摩医療圏災害医療ワーキンググループ

共催：NPO 法人 周産期医療支援機構

日時：2018年11月17日（土） 8:50～17:30（*8:30より受付）

11月18日（日） 8:30～13:30（オプション）予定

定員：24名（公募なし）



●BLSO プロバイダーコース：

交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調した、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急看護師、救急救命士など非周産期医療従事者を対象とした教育コースです。

産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実です。そこで、主に病院前産科救急を想定して、ALSO※¹ の前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースがおこなわれるようになりました。それが、BLSO (Basic Life Support in Obstetric) コースです。

日本では1年間に891件の施設外分娩事例が救急隊に收容されています（平成28年度救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業 救急現場における周産期救急～わが国の実態調査と病院前周産期救急教育のあり方に関する検討～）。外傷などでERに搬送される妊婦も珍しくありません。さらに東日本大震災では、母体搬送要請は5倍に、病院前分娩は3倍に、低出生体重・早産児が2倍に、0歳児の致死率は277倍にもなったという結果がでています。災害医療においても、分娩に関わる医療者のスキルアップと医療プロバイダー拡充の必要性が指摘されているのです。

BLSO プロバイダーコースでは、講義&少人数グループによるワークステーションで妊婦の評価、分娩介助、分娩第3期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法、車中分娩などを実践します。

筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれており、試験に合格した場合、American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会)、ALSO-Japanが認定する5年間有効な認証を受けることができます。

ALSO とは

ALSOとはAdvanced Life Support in Obstetricsの略で、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。1991年に開発され、1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP—米国家家庭医学会)によって認可されました。現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられ、2009年時点で、63カ国以上でプロバイダーコースが開催され、15万人以上がALSOコースを修了しました。

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約 8,390名が ALSO コースを修了しました。参加者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、医学部生、そして救急救命士などであり、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加しています。

※2 オプションについて

日曜日はオプションのワークショップとなります。

女性傷病者の評価方法を学んだうえで、新たな目線で避難所アセスメントを行ってみてください。

講義と、実地、机上演習を合わせた半日コースです。

問い合わせ先：

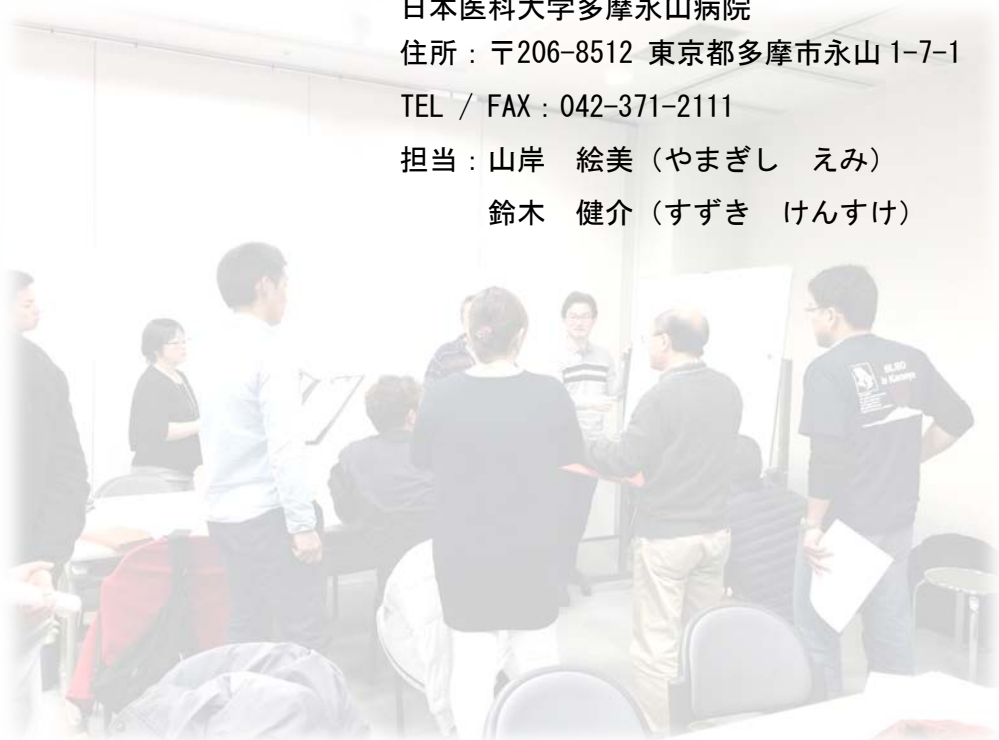
日本医科大学多摩永山病院

住所：〒206-8512 東京都多摩市永山 1-7-1

TEL / FAX : 042-371-2111

担当：山岸 絵美（やまぎし えみ）

鈴木 健介（すずき けんすけ）



第3回多摩永山BLSOコーススケジュール

時間帯	時間	内容	講義	詳細	担当								物品	会場	
					A-1	A-2	B-1	B-2	C-1	C-2	D-1	D-2			
08:30-09:00	30	受付													
09:00-09:15	15	オープニング(デモビデオ7分)													
09:15-10:40	85	分娩助産	町田	・講義15分 ・実習60分 (各セクション20分×3,初めの自己紹介含む)	I-1 分娩 肩甲難産 3期	I-2 3期 分娩 肩甲難産	II-1 3期 分娩 肩甲難産	II-2 3期 分娩 肩甲難産	III-1 3期 分娩 肩甲難産	III-2 3期 分娩 肩甲難産			A-1, A-2, B-1 ソフイー, 骨盤2, 妊婦触診1, 胎盤1	B-2, C-1, C-2 ソフイー, 骨盤2, 妊婦触診1, 胎盤1	集会室1-3
10:40-10:50	10	休憩													
10:50-11:55	65	新生児蘇生	北井	・講義15分 ・実習40分(自己紹介5分/ 初期処置・手技各10分・シ ナリオ15分)	I-2 初期処置 手技 シナリオ	I-1 初期処置 手技 シナリオ	II-2 初期処置 手技 シナリオ	II-1 初期処置 手技 シナリオ	III-2 初期処置 手技 シナリオ	III-1 初期処置 手技 シナリオ	IV-2 初期処置 手技 シナリオ	IV-1 初期処置 手技 シナリオ	A-1~D-2 新生児蘇生各1 (各大グループ内でALSO/日 体大入れ替え)		集会室1-3
11:55-12:05	10	休憩													
12:05-13:15	70	女性傷患者の評価	阪西	・講義15分 ・実習55分(自己紹介+シナ リオ4~6個)	II-1	II-2	III-1	III-2	IV-1	IV-2	I-1	I-2	A-1~D-2 ・AED/BVM/バックボード/レ サシアン A, B, C, Dで各1 ・妊婦触診:A・B, C・Dで1体		集会室1-3
13:15-13:55	40	写真撮影・ランチタイム													講師陣:第1会議室, 受講生:集 会室
13:55-14:45	50	症例検討(避難所トリアージ)			別紙参照									集会室1-3	
14:45-15:05	20	試験準備(時間あれば実技前半復習)													
15:05-16:05	60	A/B/C/D-1 実技試験	A/B/C/D-2 筆記試験→車内分娩	車内分娩:後藤、北井/坂本、菊池	池田、阪西、 萩原、伏木		北田、藤田、 中西、中尾		古山、町田、 牧野、小野寺		依田、齋藤 東間、上谷				筆記:第1会議室 実技: A集会室1, B集会室2, C集会室 3, D第2会議室 (待機C棟2Fソファ)
16:05-16:20	15	入れ替え(時間あれば実技後半復習)													
16:20-17:20	60	A/B/C/D-1 筆記試験→車内分娩	A/B/C/D-2 実技試験	車内分娩:池田、阪西/小野寺、上谷		後藤、北井、 菊池、佐藤、		北田、渡邊、 小林、三本		古山、新井、 荒川、田中		依田 大川、坂本			
17:20-17:30	10	クロージング													

※ 分娩助産はDグループの受講生がA~Cにひとりずつ入り4人でいきます。
WSはC-2を齋藤先生が指導してください(依田さん・古山さんは後方支援です)
IV-1 & 2のアシスタントさんはA1~C1指導に1人ずつ入ってください。
※ 筆記試験は20分です
※ アシスタントさん:実技試験の割り当てでない時間帯は筆記の採点→車内分娩見学に

○ チーム編成

	I-1	I-2	II-1	II-2	III-1	III-2	IV-1	IV-2
I	池田	後藤		北田		古山		依田
C	阪西		脇田	渡邊	町田		齋藤	
PC		北井						
A	萩原 伏木	菊池 佐藤	中西 中尾	小林 三本	牧野 小野寺	荒川 新井 田中	東間 上谷	坂本 大川

○ ALSO物品

ソフイー	2
妊婦触診	2
骨盤	5
新生児蘇生	4
胎盤	5

○ 日体大物品

新生児蘇生	4
-------	---

○ 日医物品

バスタオル	16
小タオル	8
AED	4
バックボード	4
レサシアン	4
BVM	4